

導関数(3)

～ 導関数の計算 ～

講師
水谷 信也

学習のポイント

微分係数を簡単に求める方法について学ぼう。

- ① 導関数の公式の復習
- ② 公式を用いて導関数を求める方法
- ③ 導関数を利用した微分係数の計算

1 導関数の公式の復習

一般に次の公式が成り立ちます。

$$x^n \text{ の導関数} \quad n \text{ が正の整数のとき} \quad (x^n)' = nx^{n-1}$$

$$\text{関数 } f(x) = c \text{ の導関数} \quad f'(x) = (c)' = 0$$

導関数の公式

$$\{kf(x)\}' = kf'(x) \quad (k \text{ は定数})$$

$$\{f(x)+g(x)\}' = f'(x) + g'(x)$$

$$\{f(x)-g(x)\}' = f'(x) - g'(x)$$

2 公式を用いて導関数を求める方法

例 関数 $y = x^3 - 2x^2 - 3$ を微分してみましょう。

解答

$$\begin{aligned} y' &= (x^3 - 2x^2 - 3)' \\ &= (x^3)' - (2x^2)' - (3)' \\ &= (x^3)' - 2(x^2)' - (3)' \\ &= 3x^2 - 2 \times 2x - 0 \\ &= 3x^2 - 4x \end{aligned}$$

← $(x^3 - 2x^2 - 3)' = 3x^2 - 4x - 3$
 これは間違いです。
 $(3)' = 0$ であることに
 注意しましょう!

問1 次の関数を微分しなさい。

- (1) $y = 3x + 2$ (2) $y = x^2 - 4x + 3$
 (3) $y = 2x^3 - 5x^2$ (4) $y = -2x^3 + 3x^2 - 4x + 3$

例 関数 $y = (x - 1)(2x + 3)$ を微分しなさい。

解答

$$\begin{aligned} y &= (x - 1)(2x + 3) = 2x^2 + x - 3 \text{ であるから} \\ y' &= (2x^2 + x - 3)' \\ &= (2x^2)' + (x)' - (3)' \\ &= 2(x^2)' + (x)' - (3)' \\ &= 2 \times 2x + 1 - 0 \\ &= 4x + 1 \end{aligned}$$

← まず展開する!

例 関数 $y = (x - 3)^2$ を微分しなさい。

解答

$$\begin{aligned} y &= (x - 3)^2 = x^2 - 6x + 9 \text{ であるから} \\ y' &= (x^2 - 6x + 9)' \\ &= (x^2)' - 6(x)' + (9)' \\ &= 2x - 6 \\ &= 2(x - 3) \end{aligned}$$

カッコの中の x の係数が1の1次式の場合だけ、以下の微分の公式が使えます。

$$y = (x + a)^n \quad (n \text{ は正の整数})$$

これを微分すると、

$$y' = n(x + a)^{n-1}$$

問2 次の関数を微分しなさい。

- (1) $y = x(3x - 1)$ (2) $y = (x + 1)(x - 2)$
 (3) $y = (2x + 1)^2$ (4) $y = (x^2 + 1)(2x - 1)$

